

平成30年度 学校評価

向陵高等学校

学校教育目標	1 自発的学習態度を育成する 2 健全な心身の発達を目指す 3 知性を高め敬愛の精神を高める 4 創造力を養い個性の伸長に努める 5 誠意をもって責任を果たす態度を養う
	校長の教育方針 1 基本的な生活習慣を身につけた生徒を育てる 2 自己の学力の向上に努める生徒を育てる 3 教科の勉強以外に打ち込めるものを見つけ、取り組む生徒を育てる 4 「思いやりの心」と「感謝の気持ち」を持つ生徒を育てる 5 本校独自の「チャレンジ講座」や「人間学」を通して未知なるものへの興味を広げ、豊かな感性を育む生徒を育てる
現状と課題	1 素直で人懐こいが、集団生活に悩む生徒がいる 2 欠席・遅刻が多い 3 校内の清掃・整理整頓が不十分である 4 制服の着崩しが見られる
重点目標	1 基本的な生活習慣を身につける 2 掃除の徹底 3 元気な挨拶 4 コミュニケーション能力の向上

自己評価実施日	平成31年2月8日
学校関係者評価実施日	平成31年2月8日

学校関係者評価委員会の構成	PTA役員
---------------	-------

達成度	A	ほぼ達成	80%以上
	B	概ね達成	60%以上
	C	やや不十分	40%以上
	D	不十分	40%未満

自己評価				学校関係者評価		総括	
番号	評価項目	具体的方策	目標の達成状況	達成度	学校関係者からの意見・要望・評価等	次年度への課題と改善策	
1	遅刻をしない	教員間、家庭とで連絡を取り合い、状況報告・相談を行い、生活リズムの改善を行う。安心して学校に来られるように、全教員で声掛けをする。生活向上委員会の遅刻調査を生徒・教員ともに意識する。授業前は、必要に応じて見回りをする。	遅刻する生徒はほぼ同じであり、それ以外は概ね良好である。遅刻を繰り返す生徒の中には時間を守る意識が低く、反省できていない者がいた。授業開始時間は概ね守られているが、体育後の着替え等に時間がかかり、開始が遅れることがあった。	B	「先生方が毎日校門前に立ち声をかける姿を見かける。子供たちもそれに応えようと、ギリギリになると走り出す様子が見られる」遅刻しそうなのに急ぐことなく歩いている生徒がいる」「生徒個人に見合った対応を引き続きお願いしたい」「遅刻の原因を分析し改善につなげたい」	時間を守ることの大切さを訴え声掛けをし、個々の状況に応じて根気強く指導する。引き続き家庭との連絡をしっかり取り合い、時間に余裕を持って登校できるようにする。授業前は、必要に応じて巡回し指導する。	
	さわやかな身だしなみ	服装の指導は、朝、帰りのHR、授業前にその都度する。生徒会とも連携を図り、生徒同士が服装についても注意し合えるようにする。すぐに保護者との連携をしっかりと行い、教員・保護者が共通理解、共通指導できるよう目指す。	概ね良好である。教員が朝や帰りのHR・授業前に服装指導を必ず行い、気づいたらその都度注意して改善させた。一部の生徒に、制服の汚れがあったり着方を気に留められない様子が見られた。	A	「服装の乱れている生徒をあまり見たことがない。とてもよいと思う」「学校の外で生徒を見ても、さわやかな身だしなみだった」「行事等で学校を訪問しても目立つような乱れはなかったと思う」「概ね達成できているが、TPOにあった身だしなみを理解させることが大事だと思う」	次年度も継続して朝・帰りのHR・授業前・行事前に服装指導を行い、良好な状態を維持していく。指摘されなくても自分自身で見た目や清潔感にまで気が配れるように意識させる。生徒会で自分たちの学校をより良くしていく気運を高める。	
	安心・安全な学校生活	家庭との連絡を密にし、欠席している生徒や普段と様子が異なる生徒に関して、担任だけでなく全教員及びスクールカウンセラー(SC)で情報共有を行い声掛けをする。必要に応じて面談を行い、会議を開く。定期的にいじめアンケートをとる。観察シートを記入する。教員は、生徒が相談しやすい環境づくりをする。	欠席した時には家庭と連絡を取り、必要に応じて二者・三者面談を行った。全教員で情報を共有し個々の生徒に応じて様々な対応をとった。クラスによっては生徒間のトラブルやいじめ問題が発生したが、担任や指導部、SCと連携し早期対応ができた。	B	「教員と生徒のコミュニケーションがよくとれていると思う」「先生は気になることがあればすぐ連絡をくれて助かっている」「何度も面談をして話を聞いてもらったり改善策を提案してもらい感謝している」「学校側が積極的に声がけをしているので不満等は聞かれません」「SCを続けてほしい」	全教員が生徒に関する情報共有の発信力を高めていく。休み時間や放課後見回りをしたり普段から声がけを行い、何か気づいたら早い段階で対処する。必要に応じてチーム・ティーチングを行う。保護者とも連携していく。	
2	きれいな校舎	掃除の時間は必ず教員がつき、細部まで丁寧に掃除をすることを習慣化し、指導していく。破損箇所等について素早い対応を心掛ける。クリーンアップ作戦を活用する。	自分の清掃分担に概ねきちんとして取り組んでいた。しかし自ら気づいて細部まで丁寧に清掃する態度は不十分だった。3年生は社会人目前であるにもかかわらず取りかかりの遅さや協力、徹底のなさが目についた。	B	「いつ訪問しても校舎は綺麗な印象で、トイレも綺麗である」「教員がつかなくても綺麗に掃除できれば良いと思う」「細部まで丁寧かという点はまだだと思」「クリーンアップ作戦を通して、地域の為の意識や自分の身の回りの整理整頓意識が高くなった」	最初の段階で丁寧に綺麗に仕上げる清掃の仕方をしっかりと教える。出来る限り教員がつき終わったら必ず確認する。自分の役割以外のことも手伝う気持ちを養う。クリーンアップ作戦で地域奉仕の気持ちをより一層深める。	
3	元気な挨拶	職員室の出入りや授業での挨拶を徹底し、やり直しもさせる。少しずつでもできるようにさせ、自信をつけさせる。挨拶が苦手な子にも声掛けをし、一人ひとりの生徒が、見てもらっている感覚、または自己有用感を持つように指導していく。生活向上委員会・PTAの挨拶運動を有効活用する。行事を通して同学年はもちろん、他学年・外部の方々とも積極的に交流する。	授業やHRでの挨拶やお客様への挨拶、職員室への入室の挨拶など、挨拶そのものは概ねできていた。特に部活動に所属する生徒の挨拶が良かった。ただ全員が元気ではなく、また一部声を出せていない生徒もいた。	B	「学校に行くと元気に気持ち良く挨拶してくれる」「静かな生徒もいるが生徒から先に挨拶をする人が増えてきたと思う。もっと増えればみんなの笑顔も増えると思う」「挨拶できない子は自分に自信がないからだと思う。自信が持てるように一緒に考えたい」「挨拶の習慣は社会人でも大切なので今後も指導してほしい」	挨拶の大切さを理解させ、引き続きHRや授業で姿勢・態度も含めて指導していく。内面的な生徒や声を出すのが苦手な生徒に対しては原因を探りながら自信をつけさせていく。また、生徒側から積極的に挨拶する学校づくりを目指す。	